

経済学部 公開講座

「日本経済の再生—震災を越えて」

西岡教授が第1回講演

低迷する日本経済復活のヒント探る



本学経済学部の教員が「日本経済の再生—震災を越えて」(全6回)が5月19日(6月23日まで)...

多摩区3大学 連携事業

多摩区長に 成果を報告

地域社会と連携しながら課題解決に実践的に取り組む多摩区・3大学連携協議会の平成23年度事業報告が5月8日、多摩区役所で行われた。



池田区長(右奥)に成果報告

本事業には本学からネットワーク情報学部の「コンテンツデザイン応用演習」(担当・上平崇)が参加した。



ビデオ撮影した被災地の映像を見ながら教訓の大切さを学んだ

5月15、17の両日は、生田キャンパスでオーストラリア...

豪・心理学者を招き 被災者支援交流会

大学院生ら20人が参加

東日本大震災による福神奈川周辺に避難している方々の心のケア支援や無料相談を行っている心理教育相談室...

心理教育相談室が公開講座

「加齢が認知機能に与える影響と脳トレーニング」 岡村准教授が講演



岡村准教授の講演に熱心に聴き入る参加者

心理教育相談室主催の一般公開講座「加齢が認知機能に与える影響と脳トレーニング」が5月12日、本学サテライトキャンパスで開催された。

はじめに加齢によって訪れる身体面、認知面の変化について解説。岡村准教授は、「新しい状況や未知の問題に対して柔軟に対応する能力(流動性知能)は年齢とともに低下していくが、練習や教育などの過去の学習経験を通して確立された判断力や習慣(結晶性知能)は加齢によっても変化しない」と語った。

リアの心理学者3人を招き、被災者支援交流会を主催する心理学者、臨床心理学専攻の大学院生ら同相談室のメンバー20人が参加して開催された。

図書館 春の企画展で講演会とギャラリートーク



松下文学部教授によるギャラリートーク

5月9日から29日まで生田キャンパスで開催された専修大学図書館春の企画展「はじめて観るマニユスクリプト—世界でひとつという魅力—」の講演会が生田キャンパスで、5月19日に開かれ、

美しい西洋写本の世界を紹介

おおよそ30人が聴講した。はじめに松下知紀専修大学文学部教授が「西洋写本と文化の伝承」をテーマに講演。世界各国の博物館などに保存されている西洋写本(マニユスクリプト)の画像を示しながら、その歴史や魅力を解説した。聴講者は、「書画力メラ」で映し出された美しい西洋写本の数々に魅せられた様子だった。



講演する白百合女子大・篠田教授

公開講座情報

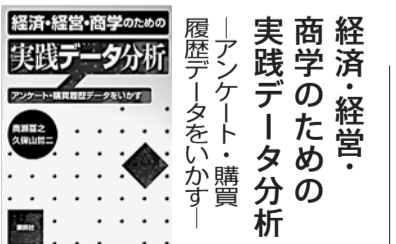
社会知性開発研究センター / 心理学・臨床と基礎の融合を目指す / 日時 6月16日(土) 13時30分〜 / 会場 生田キャンパス10101教室 / 協働社会へのチャレンジ

専修人の新しい本



「よい経営の創り方、よい経営学の学び方」 加藤茂夫 編著 山田耕輔・間嶋崇 共著

本書は経営学部1年次生対象の「経営入門」を担当する5人の教員による共著である。企業をどのようにかじ取りすべきか、組織メンバーはどのように考え、どう行動すべきかを世に問うている。企業論・組織と戦略編(一)と社会編(一)と世界編(一)と経営学とその



「実践データ分析」 奥瀬喜之 共著 社会科学におけるデータ解析の環境は格段に向上してきている。分析手法には、分析の「しくみ」を知ることが重要であるという前提に立っている。その前提の下で「どのような時にどう使えばいいのか」のようなことについて気をつける必要があるのか」を理解してもらうことをねらいとしたテキストである。

「被災地における社会関係資本を活かす試み」 日時 7月14日(土) 13時〜 / 会場 生田キャンパス731教室 / 協働社会へのチャレンジ